

寄稿 8月15日に思う事

敗戦・靖国神社・シベリア抑留

本間 勇(上平形・87歳)

毎年8月15日、各メディアは「終戦の日」として「大東亜戦争」について色々伝えておられます。

後世にも語り継ぐべきだと思います。

★ ★
次に靖国神社についてです。

しかし私は、この日は「終戦の日」でなく「敗戦の日」だと思っています。

「大東亜共栄圏建設」という美名のもと、領土拡大のための侵略戦争で、尊い命を失った多くの軍人・軍属が祀られている神社です。

戦争の終末期に日本は連合国軍の無条件降伏を受け入れたのだから、当然、敗戦とはつきり言うべきです。

しかし私が納得出来ないのは、戦争責任者として刑を受けたA級戦犯も同じ神社に祀られていることです。

安倍総理は国の為に尽くした英霊に参拝するのは当然と言っていますが、戦犯については一言も語っていません。



本間 勇さん

戦いを仕掛け、原爆投下による悲惨な様子を見た時、戦犯の責任でなく誰の責任ですか。韓国・中国をはじめ甚大な被害を受けた連合軍の国々が反発するのは当然のことです。

★ ★
国会でも靖国問題について野党が追及していますが、全く前に進んでおりません。

来年は70回目になります。

政治、宗教に関係なく、誰でも参拝できる慰霊施設をつくって貰いたいと思います。

★ ★ 私事です、兄達2人はフイリピンで戦死しましたが、一度も靖国神社に参拝したことはありません。

故郷の墓で安らかに眠っており冥福を祈っております。

★ ★ 最後はシベリア抑留についてです。

私は昭和18年10月志願して軍隊に入り、短期間でしたがソ連軍と戦い、敗戦で捕虜となり抑留の日々がはじまりました。

南太平洋諸島や中国大陸にいた陸海軍は、国際的な取り決めによって1年余りで復員することができました。

★ ★ しかし、スターリン首相のソ連に降伏した関東軍と朝鮮・樺太・千島列島にいた日本兵60万人は、遠く黒海方面から極北の地まで、広大な地に抑留され、飢餓と極寒の中で強制労働を強いられ6万数千人が命を落としたと

いわれています。私も敗戦後4年もの間、人間として生きるための更なる闘いでありました。

★ ★ 私は抑留2年目に20歳を異国で迎えました。今年87歳です。あれから67年になります。

戦友の遺骨は今も凍土の下に眠り、今だに帰らず、戦後はまだ終わっていません。

年々遠ざかる異国のドラマ、高齢で体験者が少なくなっていく今こそ、生き残った私達は、どのようにして現在の平和が築かれたかを見直し、後世に伝えていく事が異国の地に眠る戦友達に出来る唯一の鎮魂だと思います。

★ ★ 私が大事にしている言葉です。「愛国とは、戦争で他国に勝つ事でも、強い軍隊を作ることでもない。」

抑留のドラマ曾孫に書く八十路(川柳)

これは消費税率を5%に上げた直後の1997年同期の3・5%減を上回る深刻さです。

特に個人消費は18・7%減とここ20年間で最悪、設備投資も2・5%減、予想の落ち込みの下半支えとした公共投資も0・5%減、期待の輸出も0・4減です。

甘利担当相は「マイナスとなつたが、過去の消費税引き上げと比較しても正常な反応」と国民感情とかけ離れた異常な発言。同紙翌15日付は、来年10月の10%引き上げ反対は74・8%、内閣支持率は1・1ポイント減の43・5%に続落と時事通信世論調査を紹介。こ



アベノミクスにレッドカード 国民総生産(GDP)年率6.8%大幅減 消費税増税 暮らしと経済を直撃

政府は今年4～6月期のGDP(国民総生産)が前期比で年率6・8%の大幅減と発表。しんぶん赤旗は8月14日付トップ記事で報道しました。

これが正常は国民感情です。中央大学名誉教授今宮謙二さんは、これらの数字は、日本経済の基盤に大きな打撃を与え、株価を引き上げ、大企業利益を拡大させただけで、国民の暮らしにはなんの効果もなく、むしろ破壊される危険が激化したことを示すと語ります。

集団的自衛権行使容認決定以来、内閣支持率は急速に下がり、マスコミに持ち上げられたアベノミクスも破綻が見え、私たちの生活を破壊する安倍首相の退陣を求めずにはられません。

『やくみつるの小言・大言』 4コマ漫画集

—「しんぶん赤旗」を読んで 青山 崇

やくみつるさんは、月に十数本の連載を抱える漫画家、またテレビのコメンテーターとして率直な政治批判などで大活躍である。赤旗日曜版に社会ネタ・政治ネタなどの4コマ漫画「小言・大言」を1994年から20年間



やくみつるさん

連載中である。それが単行本になり好評である。しんぶん赤旗7月20日付読書欄広告である。「庶民をいじめる政治には辛口風刺をお見舞い、したたかに生きぬく庶民の健気さ、厚かましさに喝采を送る。」同時に安倍首相の会食政治を皮肉った漫画が掲載されていて胸がスカットする。8月10、17日号は3面全面で「悪

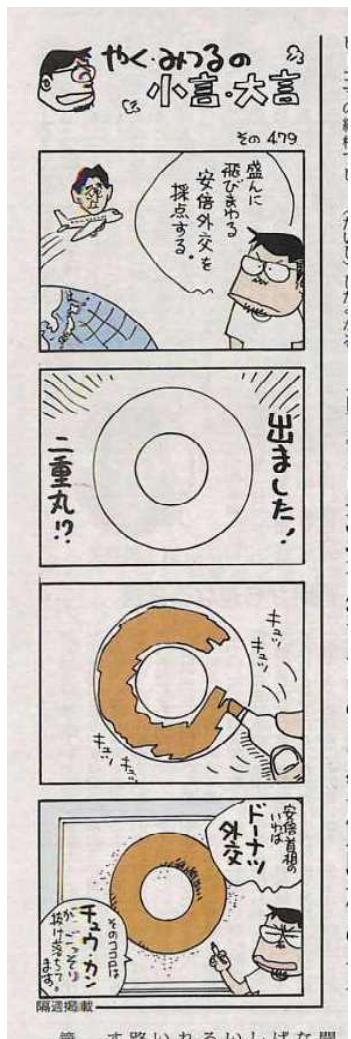
政なほどネタがわく、ジレンマだなあ…」特集。だから「因果な商売です」という。前から共産党にエールを送ってきたが、「社会への憤懣をほとんどの人が抱いているのに、なぜ無批判に大きな勢力に投票してしまおうのか不思議。」誰に入れても一緒」という感覚はよろしくない。」と苦言を呈している。

20年目を迎えた アジア学院研修生の庄内研修



栃木県西那須野にあるアジア学院の研修生が19日から29日まで、添川の改善センターに宿泊しながら夏の庄内研修に取り組んでいます。

鶴岡市有機農業推進協議会（志藤正一会長）が受け入れている事業で、今年で20回目となります。



しんぶん赤旗日曜版8月10日

月山路草から百合の花飛び出す

工藤 博司



(画・加藤貞雄)

新版・俳句歳時記（雄山閣刊）によれば、「ユリは花が大きくて風に揺れやすいので、『揺れる』からきた名であるとする説がある。」と記されている。

百合には品種も多い。最も親しいのは「白百合」。山百合、鉄砲百合とそれぞれ目を楽しませてくれる。日本には十五種ほどが自生しており、すでに「古事記」には「山百里草」の名前が見え、「万葉集」にも詠まれているという。

「山百合」であろうか。その他にも、鬼百合、姫百合、鹿の子百合、笹百合、鉄砲百合とそれぞれ目を楽しませてくれる。日本には十五種ほどが自生しており、すでに「古事記」には「山百里草」の名前が見え、「万葉集」にも詠まれているという。国道一二号線の田麦保附近から、月山第二トンネルに至る道筋の草山には、見事な山百合がいくつもその草群から抽んで咲いている。いくつもの花をかがけているのもいいが、一本だけその丈を伸ばしている清楚な姿からはその匂いまで届いてきそうである。



広島、長崎で「コペ

今年原稿を書いてくれる人がいなかったのでしょうか。広島も長崎も首相のご挨拶とやらは、去年と違わなかったという報道だ。▼今年雨の広島だから、あのウルサイ程の蝉の声はないから、蝉しぐれという語を欠くしたのは当然だが、他は去年と同じとはネー。

▼この人ドツカ変ですヨ。前回は施政方針演説をやって止めたんだし。▼今回だって変なこと言ってきたでシヨ。福島の原発は0・3kmの中で管理されており安全だ、と言ってオリンピックを引っ張ってきた。その実、地下水でさえ管理できないでいながら原発の輸出だ。

▼はずかしくないんでしようか。広島をコピペと報じられて尚3日後の長崎もそれだったというから、〇〇でなけりや出来ないです。▼集まった人や地元民をバカにした話じやないですか。世界唯一の被爆国の首相の弁ですヨ。当然、世界中から注目されているワケ。そして当然、世界中の笑い話になるわナ。

▼大震災の復興なくして…ナンテ言いながら一向に進まないし、復興資金はドツカに流れているし、沖縄の負担軽減を約束しながら新基地建設は推進し、国の借金は減らすと言いつつながら6月に1千兆円を超え、今年度末には1143兆円（国民1人当たり818万円）になるソーナ。

▼本人がはずかしくなくつても日本人の俺はハズカシイです。その思いは、これをお読みの皆さんも同じでシヨ。

▼平和を口にしながら戦争できる国を急いでいるし、国民の思いとは相容れないこの人は、日本の首相に相応しくないから、早く首相を止めると大きな声で言おうよ、ネー皆さん。

(石川)